

# 田部謝恩財団 17

## だより

平成 26 年 3 月



○表紙写真

(上)吉賀町の「七光保育所」での木育教室とロボ木一の贈呈式

(下)第14回全国中学生木工チャレンジ大会

(一財) 田 部 謝 恩 財 団

## 財団の活動

平成二十五年度、財団は次のような活動を行いました。

### ■森林林業技術者育成

#### ●奨学金支給

本年度はインドネシアの六大学の林学部の学生八十名（応募者百五十名）に奨学金の支給を行いました。

内訳は、ボゴール農科大学二十名、ガジャマダ大学十五名、ムラワルマン大学十五名、タンジュンプラ大学十名、ハサヌデイン大学十名、パプア州立大学十名で、支給額は一人当たり月額三十五万ルピア（約三千円）です。

#### ●研究費助成

木材加工技術開発に対して研究費の助成を行いました。

本年度の研究課題と研究者名は次のとおりです。

① 「センダナバブア樹木成分が持つ蚊類を駆除する能力を天然殺虫剤に活用」

アンデュール・アジス

レニー・ブイナワット（パプア州立大学）

② 「皮膚病のトリコフィトン病に対するシンダ一樹脂の抗体作用と調合物が示す効能の解明」

ファスール・ユスロ、ブヤング・スダルマジ  
(タンジュンプラ大学)

### ■調査研究事業

#### ●木材加工技術調査研究事業

① 十月三日～六日にかけて、臨沂三澤木業公司（合板工場）の中国人若手技術者七名が来日され、ミサワ岡山工場、株式会社日新本社工場を見学し、合板等の加工製造工程について日本研修を行いました。



7名の中国人技術者一境港港

② 十月二十四日～二十七日にかけて、日新Gの若手技術者十名が中国臨沂三澤木業公司（合板工場）を訪問し、製造工程等の中国研修を行いました。

### ■森林育成啓蒙事業

#### ●「木育」推進事業支援

年県内外で取組まれる木育推進事業の後援を行い、次の六つの事業を支援しました。

##### ① 山下先生指導の木育活動の支援

十月二十四日、那賀郡吉賀町七日市にある七光保育所で、園児、保護者が参加し木育教室開催と等身大ロボ木の贈呈式を行った。



山下先生からロボ木一贈呈

## ② 「赤ちゃんからはじめる木のある暮らし」

十一月十七日に松江市が開催した

「環境フェスティバル」の一環として、

東京おもちゃ美術館の多田館長の講演と  
県内の森林・林業・木材関係者を囲んで、

木育普及についての円卓会議を開催し市  
民五十人が参加した。

## ③ 第十一回「島根県中学生ものづくり競技大会」

平成二十五年八月二十二日、島根大学附属中学校において中学生七名が参加し、木工の技を競いました。上位入賞者は中国大会を経て最終的に一名が全国大会に出場した。

## ④ 木育推進テレビ番組の制作

今回は出雲商高の木のおもちゃ製作授業や、市内の子育て支援企業の取組み、親子木工活動、山下先生インタビュー等を通して、島根の木育の今を考える「ウツドスタート・木からはじめる島根の木育」を制作した。番組は平成二十五年十二月二十一日(土)午前中にTSK山陰中央で放送され好評でした。

## ⑤ 第十四回全国中学生「創造ものづくり教育フェア」の支援と財団特別賞の表彰

「木工チャレンジコンテスト!」

平成二十六年一月二十五～二十六日  
於： 東京都江東区の新木場タワー

各ブロック大会から選出された中学生の

匠十六名が参加し、創意工夫、材料・工具を扱う技術と技能、作品の精度を評価基準に木工の技を競いました。表彰式では、島根の福井建造君が健闘して産業技術教育学会会長賞を、田部謝恩財団特別賞は熊本県の杉本塊理君が受賞しました。



競技会場の選手たち

## ① 出雲科学館での木育推進事業の支援

木と親しみ、森林環境の意識を高めるため、出雲科学館が実施する七種類の木工教室を支援しました。八月から翌年三月の十九日間に開催され、延べ参加者数は三千人余でした。



### 七種の木工教室名

- バードコールをつくろう
- 虫かごをつくろう
- たたくと響く木の箱・ドラムをつくろう
- 来年の干支ウマのメリーゴーランドつくろう
- かわいい木の小物をつくろう
- マキマキ鉛筆立てをつくろう
- いろいろな木の積み木をつくろう

## 地球環境のために 合板を育もう！



木質材料の代表格「合板」は21世紀の「環境新時代」にふさわしい、地球に優しく、持続可能な天然資源を原料にして製造されています。また、最新の木材加工技術により高い性能と品質を持ち、私たちの生活になくてはならない建築、生活資材であります。この地球環境にも良い合板の強さ、美しさ、優しさ、面白さ、ユニークさ、繊維など多面的な合板の魅力を、みなさんの力によって引き出しましょう！

企画監修：株式会社コンペ  
プロのクラフトマン・デザイナー・アーティストなどあらゆるジャンルのクリエイターとして小学生から大学生まで企画制作を対象としたコンペティションです。

第3回  
ごくはん  
全国合板一枚  
作品コンペ

平成26年  
8月25日(月)▶9月12日(金)  
作品の審査のみお通りください。

2次応募期間：  
平成26年9月24日(水)~10月10日(金) 必着  
※1次応募(審査通過者)で、選ばれた方は、  
2次応募で作品の実物を提出し、審査を行います。

●摄影 最優秀賞 (林野庁長官賞) 優賞：賞金20万円 1件  
公益社団法人 日本木材加工技術協会会長賞 優賞：賞金7万円 1件  
日本合板工業連合会会長賞 優賞：賞金7万円 1件  
NPO 泰人木材・合板博物館理事長賞 優賞：賞金7万円 1件  
「合板一枚・作品コンペ発祥の地 猛田」賞 優賞：賞金7万円 1件  
「企画賞 デザイン」賞 優賞：賞金5万円 1件  
「山下 春功 木育」賞 優賞：賞金3万円 《回数カード》2枚<sup>①</sup>  
優秀賞 優賞：賞金3万円 2件 特別賞 優賞：賞金2万円 2件  
① 小学生、中学生が1点にした賞です。  
当選者（高等5年生以下を含む）以下が選ばれた場合、現金ではなく同額の回数カードを贈呈します。小学生、中学生、高校生、高校生、大学生、特別支援学校生などはそれそれ各自の賞を記載して選択します。また、この他に特別賞・奨励賞・最優秀賞(記念品)を設げます。  
応募締切 平成26年11月30日(日)本社古河駅前ビル(東京)、待合室で行います。

●ホームページ  
<http://gouhancompe.jp>

●送付先・郵便局  
〒240-8501 桃渕市櫻ヶ谷区  
郵便番号 79-2 国立大学教育員団扶助課  
扶助教育課 北小林大介(こばやし だいすけ)  
電話 045-339-3445 FAX 045-339-3345  
E-mail kobada@qmu.ac.jp

●主催団体 / 公益社団法人 日本木材加工技術協会、日本合板工業連合会、NPO 泰人木材・合板博物館、日本合板販賣組合  
連携団体(会員) / 一般財團法人 日本国材封印・苦情相談センター、近畿造船工業協会、近畿造船会、一般社団法人 日本木工機械工業会、公益財團法人 日本合板検査会、  
國立大妻女子大学、木育全国生産者協議会、帝國アクリシン研究所、トゥーバリ協会、株式会社日刊木材新聞社、株式会社  
出版センター(子会) / 引出作、社会貢献人賞受賞者、日本国際教養大学木材加工分野、日本木材科学研究所、日本大学木材研究所、農業研究者、一般社団法人 全国中学校の運営教  
育協会連合会、一般社団法人 日本木育会、全国高等学校木材連絡会、日本木材学会、日本木材科学研究所、日本立派等学校連盟、桃渕市立桃ヶ谷中  
学校立中学校等の運営会、一般社団法人 日本県立中学校高等子供協会、木育全国生産者連合会、一般社団法人 木育専門学校連合会、株式会社  
木育古河事業部、株式会社木育研究会

## (一財)田部謝恩財団

〒690-0887 松江市殿町 383 TEL 0852-23-7122